

先生の“気付き”で大事にならず友人と楽しく活動する機会が、より充実します。細かい気配りで危険を回避できるような言葉かけがとても重要な役割となります。

<気を付けること>

- 水泳の学習時、気管切開部に水が入るのを防ぎましょう。
- 鉄棒、マット運動等では、気管切開部に負担のかかる姿勢を避けましょう。
- 清掃や外遊びの時は、気管切開部へのほこりの侵入を防ぎましょう。
- マラソン等で汗をたくさんかいた時はカニューレに気をつけながら丁寧にふきとり、水分補給を行いましょう。

万が一抜けてしまったら、気管切開部がふさがってしまうこともあります。また、呼吸が苦しくなったり、気管切開部から出血してしまったりしたら、どのように対応したらよいのかを主治医と相談しておきましょう。医療的ケアに関わる『緊急時対応マニュアル』を作成しておくといざという時、落ち着いて対応することができます。

お近くの特別支援学校
医療的ケアコーディネーターまで
お気軽にご相談ください。

• 千葉県立桜が丘特別支援学校

TEL : 043-231-1449
住 所 : 千葉市若葉区加曾利町1538

• 千葉県立船橋特別支援学校

TEL : 047-439-5811
住 所 : 船橋市上山町3-507

• 千葉県立船橋夏見特別支援学校

TEL : 047-429-6699
住 所 : 船橋市夏見台5-6-1

• 千葉県立松戸特別支援学校

TEL : 047-388-2128
住 所 : 松戸市栗ヶ沢784-17

• 千葉県立四街道特別支援学校

TEL : 043-422-2609
住 所 : 四街道市鹿渡934-45

• 千葉県立銚子特別支援学校

TEL : 0479-22-0243
住 所 : 銚子市三崎町3-94-1

• 千葉県立長生特別支援学校

TEL : 0475-42-2470
住 所 : 一宮町東浪見6767-7

• 千葉県立君津特別支援学校

TEL : 0439-55-4333
住 所 : 君津市北子安6-14-1

代 表 : 千葉県立袖ヶ浦特別支援学校

TEL : 043-291-6922

FAX : 043-292-1706

住 所 : 千葉市緑区誉田町1-45-1

医療的ケアのお子さんに関わる
先生方へ

気管切開について

～呼吸を楽にすることで、
楽しい学校生活を～



呼吸に障害があっても、気管切開を行うことで、学校生活を豊かに送ることができます。

気管切開部には、気管がふさがらないように、気管カニューレを挿入し気道を確保しています。

※まれに、カニューレを挿入していない人もいます。

気管切開って？

呼吸のしづらさを改善する方法のひとつです。

- 気管とその上の皮膚を切開して、その部分にカニューレを挿入し人工鼻
- 気道を確保することで空気の出し入れができるようにすることです。



呼吸しづらいって？

- 空気の出し入れがうまくいかないこと。
- 酸素と二酸化炭素のガス交換がうまくいかないこと。
- 気管がせまくなる、つまることなどがあげられます。

注意 1

適切なタイミングで吸引を行きましょう。

- 痰がたまって、ゼロゼロしてきたときや時間を決めて等、適切な吸引を行きましょう。
- 物品収納の工夫をしましょう。



注意 2

感染予防のために清潔を保ちましょう。

- 物品は清潔なものを使用します。
- 清潔操作を行きましょう。
- 口腔衛生を心がけましょう。

気付いたことがあったら看護師や保護者に伝えましょう。

注意 3

カニューレがつまらないようにしましょう。

- 人工鼻、ガーゼ、バンダナ、スタイで入口をカバーし、外部からの異物の侵入を防ぎましょう。
- 教室の加湿、換気をすることで、カニューレ内の乾燥や痰の詰まりを防ぐことができます。

保護者、担任、養護教諭、看護師、管理職と連携しての対応が大切です。
子どもの様子がいつもと違うときは一人で判断せず、複数で観察し、みんなで対応していきましょう。

注意 4

カニューレが抜けないようにしましょう。

- 固定ベルトがゆるんでいないか確認しましょう。
- 物や手が直接当たらないように、スタイやバンダナで防ぎましょう。
- ✳️カニューレに無理な力を加えないようにしましょう。
- 首を過度にそらせない。
- 首を前に曲げない。
- 首を左右に強く回さない。

カニューレがあたって気道を傷つけたり、出血したりすることがあります。

✳️毎日の確認が大切です。

- お子さんの登下校時は、健康観察と、物品確認を行きましょう。
- 体育、給食の前後など、時間を追っての観察も大切です。
- 授業時、担任間での引き継ぎを忘れずに行いましょう。
- 物品リストを作成し、忘れ物を防ぎましょう。
- 健康観察リストを作成することで体調を把握することができます。

参考文献

「医療的ケア研修テキスト」クリエイツかもがわ
日本小児神経学会社会活動委員会
「千葉県特別支援学校医療的ケア基本研修テキスト」